

# 空き家を活用した地域活性化 『内子町に新しい価値を作る』

合同会社アソビ社 山内 大輔



## 内子晴れ立ち上げの経緯

2014年に私は地域おこし協力隊として内子町にやってきました。地域を知っていくために300軒以上の家々を訪問し、数多くの地域行事に参加しながら内子町に好きな人が増え、また、好きな場所を日々見つけながら、『豊か』と思う暮らしにたくさん出会ってきました。そういった暮らしを情報発信しながら、協力隊の任期中は移住促進の仕事を中心に、空き家の調査や移住希望者の案内などをしていました。その中で、築170年の素敵な物件に出会いました。町並み保存地区の入口にあるこの物件は、最初に見たときから旅の拠点になるイメージがありゲストハウスに適していると思っていました。そのイメージを持って大学時代の友人の建築家に相談しに行ったことからゲストハウスの構想が始まります。

内子町は観光地として少しずつ確立されてきていますが、宿泊者の数はかなり少なく、日帰り客がほとんどです。私の思う内子の魅力とは、日帰りでは味わえないもので、ガイドブックに載っている

ようなところだけでなく、町中で出会う人の温かさや、ゆったりとした時間の流れ、美しい棚田の向こうに沈む夕暮れなど、内子の暮らしの中に垣間見える日常に浸っていくことです。私は外から来た人を数百人案内してきましたが、やはり地元の人に、暮らしに、日常に寄り添えた時に楽しさ、居心地の良さを感じていました。そのため、ゲストハウスを考えていくうえでは、ゆっくり泊まらないとわからない内子の魅力を伝えていくこと、旅人と地域の人がつながるような拠点づくりをすることをまず考えていきました。そしてプロジェクトを開始するにあたり、建築家、グラフィックデザイナー、プロダクトデザイナーと4名でチームを組み、専門家ならではの視点も入れ込みながら、内子の遊び方や見せ方を一工夫し、より内子を遊びつくせるようにしていくことを目的として合同会社アソビ社を立ち上げました

## 古民家改修で苦労した点

計画が進んでいくなかで、実際に古民家を借りていくこと、そして古民家ゆえ



作業中



作業中

に解体をしなれば全容がわからない物件に手を加えていくことにはそれなりの覚悟が必要でした。

ある程度の費用は事前に見積もりを出しましたが、

実際に解体をした結果、躯体がシロアリにやられている箇所がいくつかあり、切り落とし大工さんに『根継ぎ』をしていただきました。この根継ぎ費用に加え、



シロアリ駆除など、さらに別費用がかさむ等、序盤から想定していない費用が出ていきまし

た。今回の改修では費用を抑えていくためにも現場監督は入れず、自分たちでできるところは、自分たちでやる『セルフリノベーション』を中心に、水回り関係や作業場難しいところはプロの方々にお申しながら行いました。素人の私が現場で『段取り』をしていくことになるのですが、そもそも現場をどう進めていくのか、何から順番に始めていかなければいけないのか、資金の調達など、『段取り』がとても難しかったです。

また、デザインに関しては実際に解体をしないと状況がわからないので、解体



作業時メンバー



作業時メンバー

してから各場所のデザインを決めていきました。ただでさえ素人なのに、これがさらにスケジュールを立てていくことを難しくさせたように思います。

## 古民家改修で良かった点

セルフリノベーションゆえに、一緒に作業してくれる仲間を募ったところ、地元の方や町外の方々がたくさん来ていただき、建築の技術を勉強しながら、作っていくことの楽しさを味わえたことや、建物に対する愛着を持ってもらえたこと、いろいろな人とつながれたことはよかったですと思います。

部屋のデザインを決めていく際には、内子の魅力を建物からも伝えられるように、アソビ社メンバーで材料を探しました。和紙でもおなじみの内子町なので、和紙や、その原料である楮、木蠟、菊炭、竹材を使用しました。また、木工屋さんをはじめ、廃材をいただいたり。特別なものもありましたが、どんな些細なものにもアイデアをひとつつ加える



内観

ことで価値が生まれる、そんなデザインができたのではないかと思います。資金面では、当初の見積もりをはるかに超える費用がかかってしまいました。大きく超えた部分を今回クラウドファンディングに挑戦し、私たちの思いを多くの人に届けることができ、また多くの方に賛同しご支援いただけたことはとても嬉しく、やってよかったと思います。

## 今後のこと

もうじき古民家ゲストハウス&バーをオープンして1年が経ちますが、地元の人と旅人が交わる拠点、そして内子の情報を伝えられる場所にはなりつつあると思います。まだまだ至らないことは多いですが、内子晴れでつながってきた人たちと一緒にアイディアを加えて、新しい事業をそして内子町の新しい価値をもっと作っていったらと思います。



完成後外観